

ウィリアム・オルト プロジェクト：

1852～1864 年の間に船上員として働き、航海しながら中国と日本で商人として活躍した若き英国人男性が認めた書簡

テッサ・モンゴメリー夫人のご厚意によって寄贈された書簡、および立命館大学アートリサーチセンター副センター長の赤間亮教授の編集面及び技術的における献身的なサポートによって完成に至った本データベースは、ウィリアム・J・オルト

(1840～1908 年) が 1852 年辺りから 1864 年の間に認めた個人的な書簡を含むものである。英国陸軍将校であった父の死後、オルトは英国の商船で職探しをした。本コレクションにおける初期の多くの書簡は母親や親戚に宛てられたもので、1853 年にロンドンで彼が仕事を探していた様子が詳細に記述されている。同年末頃、オルトは世界中に物資や乗客を輸送したシャーロット・ジェーン号という商船で仕事を得た。1853 年から 58 年の間、オルトはオーストラリア、バミューダ、中国、大西洋にあるセントヘレナ島といった港から母親や親戚に対して書簡を送っている。

そして 1858 年、シャーロット・ジェーン号での仕事を辞めたオルトは上海で商人としての職を得た。1858 年から 59 年までに書かれた書簡にはポルトガル人商人の事務所や英国企業で短期間仕事をしたこと、そして清政府の税関で事務員として勤務したことなどが書かれている。それ以外の書簡のほとんどは、後に彼が商社のオルト&カンパニーを設立した長崎から発送されたものである。これらの書簡には貿易の仕事、長崎での生活状況、家族関係のさまざまな事柄が記述されている。コレクションにおける最も新しい数通の書簡は彼がエリザベス・アールと結婚する前の 1864 年 9 月以前に書かれたものである。夫婦は 1868 年まで長崎で生活していた。

ウィリアム・オルトが送った人生、および彼が行っていた事業に関する詳しい情報は以下までお問い合わせください。

- 1) Robert Hellyer, “Mid Nineteenth-Century Nagasaki: Western and Japanese Merchant Communities within Commercial and Political Transitions” in Lin Yu-ju and Madeleine Zelin, eds., [*Merchant Communities in Asia, 1600-1980*](#). Pickering and Chatto, 2014, pp. 159-176.
- 2) Lane Earns and Brian Burke-Gaffney, eds, [*Oura Biographies*](#)

概要：ロバート・ヘリヤー、ウェイクフォレスト大学（米国）